

## 平成29年度 事業実施計画

### 1 防災施設・機材の充実（ハード事業）

#### (1) 各ブロック・町の防災資機材を拡充する。

防災資機材の整備補助事業制度が施行されてから8年余になり、その間、各町又はブロックにおいては市のメニューに従って災害時応急対策活動を重点にした資材整備拡充をしてきました。2年前からは、政策の変更を図り、災害時における避難所運営や生活物資調達・整備が重要な案件として取り組んできました。特に避難所における女性の参画や地域の防災活動にも積極的な参加を求め、防災意識の啓発・女性として必要な資材整備を図りながら女性が活動しやすく、さらに、継続できる環境づくりを模索してきましたが、完遂に至っておりません、従って本年度のハード事業として、各町に資材購入補助金3万円の予算化し、女性や高齢者、乳幼児など要配慮者の資材整備拡充を図っていきたい。

### 2 防災事務・地区実態のソフト事業充実

#### (1) 訓練の実施

来るべき大規模災害は、品変え・姿変えして想像し難い進化した規模で来襲するものと考えます。海蔵地区では、このような事態に備え、昨年度は災害対策本部設置の運営・避難所開設と運営に関する詳細な指針のマニュアル等を編集し、住民の皆様や自主防災隊、防災関係団体の方々に示して非常時の対応としていただきました。

さらに、今年度は地区の危険場所や災害の発生に踏まえて、各町：丁目の地形・地質・人口防災関連施設の実態がどうなっているのか防災カルテ電子化作成の情報を提供してもらいます、一方、地区内の皆様には有事の行動と防災力の向上のため取り組むべき内容を議論していただくことを期待しています。

したがって、本年度の訓練内容は、災害対応マニュアルや地域の災害危険度を踏まえて多岐にわたり手法を変えた、さらに、地域の課題と実状に応じた防災訓練の実施をお願いします。

このため、訓練に必要な資材等購入費として、各町1万円を予算化します。

#### (2) 防災講座の実施

過去2年間、山手中学2年生を対象に避難所にかかる講演と実技指導研修を消防本部や市危機管理室の職員を講師としてお願いしてきました。

新年度も、山手中学2年生を対象に5月27日(土)の午前、日本で発生した過去の巨大地震記録や、地震の仕組み、津波のしくみをスライドショーにて聴講し、自分達の身の周りの備え家族と防災に関係した話し合い、家庭や町での危険箇所や、不足する施設は無いのかなどワークショップ型学習講座を実施しました。

### 3 年度末防災研修の実施

研修候補地は、未定ですが昨年同様に防災先進都市を見学したいと考えています。

(予算・規模＝総合補助金28万円 参加者1名につき5千円・大型バス2台×80名)

### 4 その他

- (1) 各ブロック・町の防災倉庫保有資機材台帳更新及び備品・消耗品台帳更新
- (2) 家具・家電転倒防止対策事業の金具、及び、感震ブレーカ等の斡旋
- (4) 防災研修出前講座の開催